

信州教師塾B 第1回 会話や対話の見える化 ～グラフィックを使いながら～

信濃教育会との共催事業として今年度新たに始まった「信州教師塾B」の1回目研修会が、10月19日（火）、上伊那教育会館講堂に30名の受講者が集い行われました。

今回のテーマは「会話や対話の見える化～グラフィックを使いながら～」。講師には、グラフィッククラブの土岐俊様、西澤智美様、岡美絵様をお迎えしました。

講師のグラフィックを参考に、グループで話し合ったり、それぞれでグラフィックを描いたり、終始和やかな雰囲気の研修となりました。

次回は、12月20日（月）「コミュニケーション力」をテーマに開催する予定です。多くの先生方にご参加いただけますようお願い申し上げます。

《受講者の感想》

グラフィックを通して、コミュニケーションの本質を考えさせられました。文字や会話の方法だけでなく、誰もが見てもわかりやすい「絵」という表現を用いることによって、さらに表現の幅が広がり、会話の楽しさを感じることができるのではないかと考えました。

グループワークを通じて、相手とのコミュニケーションの中でたくさん使える場面があることに気付かされました。私にとって大きな発見でした。今、担任している小学校2年生に明日から早速使ってみたいと思いました。

1時間半があつという間でした。やはり絵があつたり、枠でまとめられたりしていると、分かりやすく「す〜っと」頭に入ってきました。そして何より「ワクワク」して楽しかったです。今後もこういう研修を受けられたら嬉しいです。

《研修の様子》



<当日のグラフィック>



《当日の資料 抜粋》

信州教師塾B

会話や対話の見える化
～グラフィックを使いながら～

講師：グラフィッククラブ

講座の案内

1. 見える化ってどんなこと?
2. 「学校現場でどう使う?」(グループワーク)
3. 描いてみよう!!
4. なぜグラフィック?
5. まとめ

アイズブレイク!!

2. 「学校現場でどう使う?」 (グループワーク)

テーマ：校内における様々なコミュニケーションの課題について

時間：10分

方法：3人でグループになり、意見交換をします

☆活用の場面

- ・ひとり(自分)
自分の考え・気持ちを整理することができます。メモ、受講する研修会の記録など、文字だけでは記憶に残りません。
- ・ふたり(生徒、先生、保護者など)
相談に乗る時、打ち合わせ、計画を立てる時に使えます。相手に伝える、言いづらいこと、聞きづらいことも伝えやすくなります。お互いの整理にも使うことができます。
- ・3人以上
打ち合わせ、会議などで使うことにより、全体を見渡すことができ、議論を合わせられることで、自分と考えの違いを発見しやすくなります。お互いの理解を深めるための、共通言語として働きます。参加できなかった人にも、写真を撮って送ることで短時間で全体像を伝えることができます。

(1) 顔の表情を描く

あ	い	う	え	お
え	い	う	え	お
あ	い	う	え	お
あ	い	う	え	お

5×5×4=100通り

(2) 感情を表現

(3) ポイント

- ・上手な絵ではなく、アイコンを描く
- ・言葉+人・アイコン+気持ち・雰囲気
- ・まずはメモ、ノートで単語や短い文章を描いてみる

⇒**対話が活性化し、主体的に**
話の内容を示すことで、「今、何を話しているか」、「自分の認識が合っているか」など、確認しやすくなり、現在地が確認できます。話が整理され、話をしている者同士の意識がそろい、相互理解が深まる。話し合いのズレが生まれにくくなります。

⇒**個人への感情から、話し合いの内容へ**
発信者と発言を切り離すことで、内容に対して発言することができます。

(2) 見える化の手法

- ・**グラフィックレコーディング**
全体像を記録することで、議論の促進を狙います。成果物は、記録物、絵!
- ・**グラフィックファシリテーション**
議論を促進するために、記録を活用します。成果物は、話し合いの場そのものです!!

⇒どちらも話し合いをグラフィックで見える化することで、相互理解を促します